



食べ物の生態系と暮らし ～忘れてはいけないこと～

スーパーに行くと旬じゃない野菜が普通に置いてあり、牛乳や卵もあることが当たり前のように買うことが出来ます。



最近、原料の**価格高騰**や**原料不足**で値段が上がったり品切れになったりすることもあります。それでもたいいていのものは買うことができます。でも、どんなものにでも限りがあってそれを無理やりどうにかしてしまうと、必ずどこかで**歪み**ができてしまいます。例えば『バター』。

今、品切れしたり価格がものすごく高騰したりしていますが、2～3年前に牛乳が大量に廃棄されたことを覚えていますか？この時に酪農家は**生産の縮小**（牛を減らす）を行ったり、**酪農家が減少**したりしました。

一度、生産を縮小した酪農家が急な増産に応じられない理由の一つに動物である牛の生態系が関係してきます。



バター200gを作るためには**5.20**の牛乳が必要です。

牛乳の需要が低迷し酪農家の減少が続く一方で、味覚嗜好の高級化によってバターなどの需要は増加傾向にあります。しかし、乳製品は飲む牛乳の基盤があってこそ安定生産が可能になるそうです。「牛乳は飲まないけれど、バターや生クリームは欲しい」というわけにはいかないそうです。

